

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	知能機械情報論		
英文授業科目名	Topics on Informatics for Intelligent Machinery		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-知能機械工学専攻-基礎科目		
開講学科・専攻	知能機械工学専攻		
担当教官名	高田 昌之		
居室	総合研究棟 4 4 2		

公開E-Mail	授業関連Webページ
takata@cc.uec.ac.jp	<a href="http://www.tl.cc.uec.ac.jp/~takata/lecture/intel.html">http://www.tl.cc.uec.ac.jp/~takata/lecture/intel.html</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>機械システムを知的に振る舞わせることを目的として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識をどのように表現するか、</li> <li>○ その知識をどのように利用するか、</li> <li>○ そのためには機械システムにどんなものを組み込めば良いのか、</li> </ul> <p>といった事柄について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 手続き的な知識記述の方法、および</li> <li>○ 推論による問題解決</li> </ul> <p>を中心に述べる。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
プログラミング言語に関する概論・演習など

【教科書等】

特になし

【授業内容とその進め方】

主な講義内容としては、

- 知性とは何か
- 基本的データ構造とアルゴリズム
- データモデルと計算モデル
- 知識記述と言語処理系
- プログラミング言語 LISP
- 手続き型言語インタプリタの実装
- 知識記述の方法
- 記号論理と導出原理
- 木探索とバックトラック
- 知識ベースシステム
- メタ知識に依る知識管理
- 集団によって示される知性
- 知性と行動

等を予定しているが、聴講学生の興味に応じて柔軟に対応したい。

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義の要所要所において出題する設問に対するレポートと、学期末に出題する課題に対するレポートとによって評価する。

振る舞いを記述するための情報構造というものを理解し、充分に利用できるようなれば良い。

### 【オフィスアワー：授業相談】

いつでもアポイントメントを取ったうえで訪ねて来てほしい。

### 【学生へのメッセージ】

特定のプログラミング言語の知識は必須ではないが、C言語によるプログラミングに通じていることが望ましい。

### 【その他】